

大暑の候 宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部会員の皆様には、衷心より暑中お見舞いを申し上げます。

先月の自衛隊関連行事は 4 日に西都城の中山荘にて青年部会総会が、また 7 日には空挺同志会総会が宮崎のホテルセンチュリーで開催され参加してきました。それから 21 日は 32 連隊会が G/H 市ヶ谷で、翌 22 日は渋谷ちとせ会館での「田母神俊雄を応援する会」に顔を出した処です。

田母神閣下もお元気そうで現在刑事被告人のお立場では有りますが、政界再進出に意欲満々のご様子に、200 人を超える支持者からは盛大な拍手が巻き起こるとともに、熱く大きな期待が感じられました。

さて西日本豪雨で被災された広島や岡山の方々には一日も早い復興を願わずにはおられません。死者や行方不明者を合わせると大凡 240 名にも上る大災害に、陸海空自衛隊は延べ 3 万人の隊員で捜索や生活支援に従事し、平成 23 年の東日本震災、平成 28 年の熊本地震に続いて 3 度目の即応予備自衛官招集も発令されました。

更には発災直後から二つの高気圧に挟まれた日本列島は炎熱地獄に苛まれ、復旧に当たる自衛官やボランティアの人達を熱中症等で苦しめている様子が何度も TV 映像に流され本当に心が痛みます。

国家国民のために汗を流し、緩急ことあれば身の危険を顧みず任務の遂行に当たると宣誓した自衛官を「憲法違反」と貶める現憲法は何としても直ちに改正せねばなりません、その憲法を作らせた張本人である「マッカーサー」に関する面白いコラムを見つけましたので、終戦記念日を前に心静かにご一読賜れば幸甚に存じます。

尚、別紙の如く 8 月 15 日午前 11 時より宮崎神宮にて「戦没者を追悼し平和を祈念する宮崎県民の集い」を開催しますので是非ご参加下さい。

猛暑の砌、皆様には呉々もご自愛専一にお過ごし頂ければ幸いです。

平成 30 年 8 月 1 日

宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部長 小 倉 和 彦